

北九州市立大学生協ひびきのキャンパス 入学準備説明会



[新学期]

取り組み概要

日時：3月16日(土) 他5回
場所：ひびきの食堂
参加者数：この日は午前午後合わせて37組の参加がありました。全6回の説明会を通し、174組の参加がありました。

背景や概要：
全体説明では職員と学生から、ミール、PC、講座などの大学生活に関する説明を行いました。後半の個別説明では、学生は学科別に、保護者は個別に相談ができる時間を作りました。

POINT.1

『職員だからこそ』『学生だからこそ』の説明会



▲新入生向けの学科別説明会の様子

個別説明会の保護者対応の際に、職員と学生が回答をうまく分担している姿が印象的でした。通学で使用するバスについての質問が出た際は職員が学生を呼び、PCについての質問が出た際は学生が職員を呼んで対応していました。新入生や保護者は、より詳しく話を聞いたことで不安が解消されたようでした。

『職員だからこそ』『学生だからこそ』できる説明をすることは、参加者が「参加して良かった」と思える説明会につながるのではないのでしょうか。

▼スタッフが参加者を席まで案内しています

POINT.2

おもてなしのころ

新入生を歓迎する気持ちや態度が前面に現れていました。開始前に机を拭く、来場した人に挨拶をする、駐車場やバス停にお出迎えに行くなど、参加者へのおもてなしが素敵でした！

一見当たり前で小さなことに見えますが、小さな気遣いが新入生や保護者の安心につながります。真似しやすく素敵なポイントです。

参加者が安心して頼ることができる説明会を作っていきましょう！



POINT.3

反省を活かして「よりよい」説明会に！



▲全体説明の様子。保護者向けの説明やモニターの使用は昨年の反省を活かし、今年からの試みです。

毎回の説明会後には反省会を行い、反省点を次の説明会で改善していました。反省会は、時間短縮のためスタッフがフォームに回答し、出た意見を職員とリーダーで振り返るというものでした。

声が聞こえづらかったという反省点からマイクを用意したり、人数に関する反省からシフトを調整したりしていました。

改善を続け、「よりよい」説明会を作ろうとする姿勢が素敵です。

参加者同士で確認し合う姿も見られました。